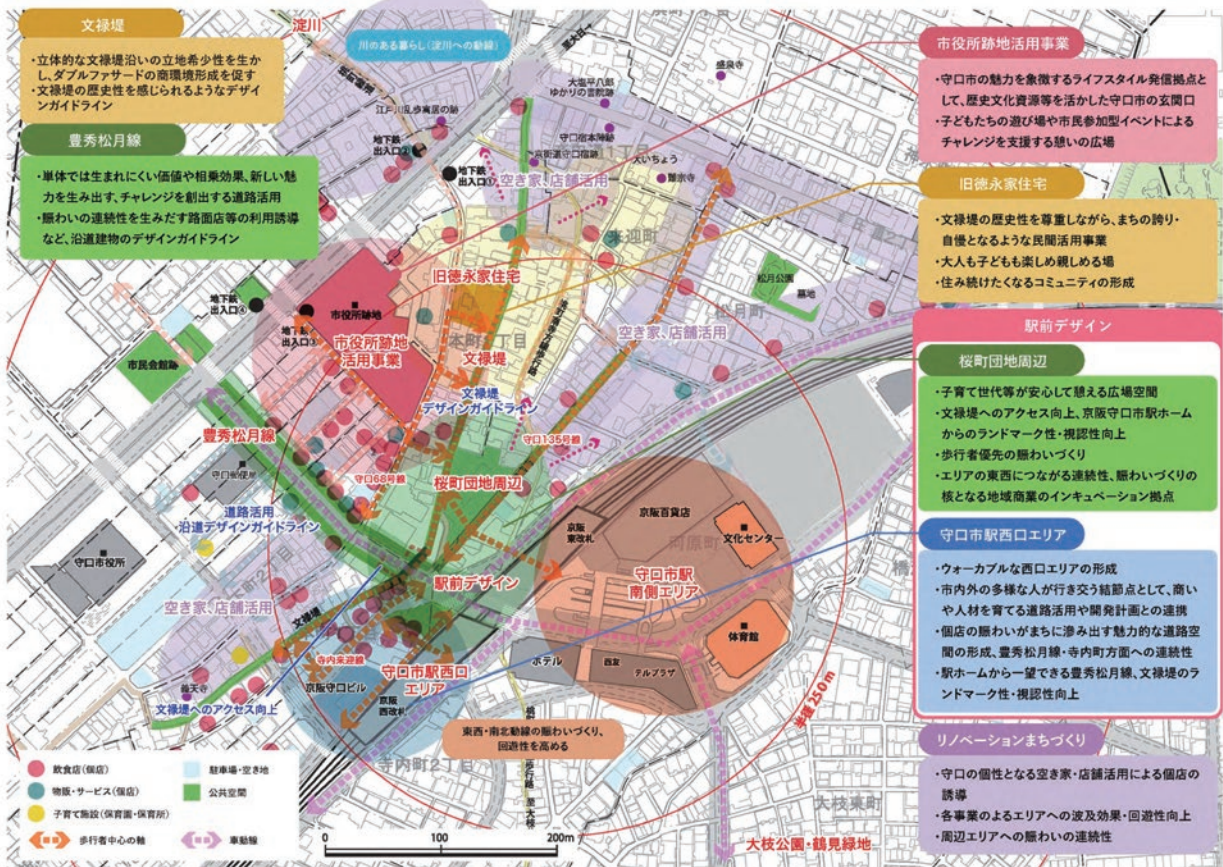


守口市駅北側エリアリノベーション戦略



本戦略は、守口市駅北側エリアを対象とし、守口の魅力と出会う機会を増やすことや、市内外の多くの人を惹きつける地域のランドマークとなる都市の顔づくり、それらの魅力の発信による都市イメージの向上など、公民が連携して、共にエリア価値向上に取り組むためのアクションプランです。

■エリアゾーニング及び各事業の取組方針



●ウォークアブル推進【豊秀松月線・文禄堤】

豊秀松月線や文禄堤は、「守口の顔となる新たなストリート」として、東西・南北の軸に各エリアの特色をつなぎ、多様な人・活動・使い方ができ、常に守口の新しい魅力に出会える公共空間として整備します。沿道店舗や近隣等の事業者、市民が道路を活用したオープンテラスやマルシェ等のイベントに活用できるようハード整備・ソフトのしくみ、ルールづくりを行い、店舗単体では生まれにくい価値や相乗効果、新しい魅力を生み出すチャレンジを創出する場、コンテンツや人が交わる場とします。

また、文禄堤の物理的な回遊性のデメリットを補うため、豊秀松月線から文禄堤へのアクセス性の向上など、歩行者の安全性や魅力を強化し、旧徳永家住宅敷地から文禄堤へアクセスする新たな動線をつくることで、このエリアの回遊性を向上させます。

●桜町団地周辺

桜町団地周辺は、子育て世代等が安心して憩える、周辺に新たな集客を呼び込むための一定の緑地空間を含む広場機能の導入を検討します。桜町団地の1階路面部分(守口135号線沿い)は、その広場の持つ集客機能や商店街の立地とともに、東西につながる連続性、賑わいづくりの核となる文禄堤の立地などを生かした商環境形成を図るため、守口で新たに起業したい・チャレンジしたい若手事業者や店舗等の集積を促し、新たな食・モノ・サービスなどコンテンツと賑わいを生む地域商業のインキュベーション拠点として、検討します。

●旧徳永家住宅【燈森（ともしり）】

旧徳永家住宅は、戦略の一環として、伝統的な家屋を単に「保存」するだけでなく、市民のみなさんが日常的に訪れることができ、文禄堤の歴史性を誇りに感じる、地域コミュニティの核になるような場所を創出することを目的に、「旧徳永家住宅活用事業」を実施しています。

令和6年度から改修工事に着手し、令和7年度夏より複合施設『燈森（ともしり）』として、順次オープンしています。



旧徳永家住宅【燈森（ともしり）】イメージ図



旧徳永家住宅【燈森（ともしり）】



貸農園「文禄ファーム」

■社会実験『守口さんぽ』

●社会実験『守口さんぽ』

変化に富む社会情勢、まちの状況に柔軟に対応できるよう「仮説→検証→フィードバック」という演繹的なプロセスで取り組むため、社会実験「守口さんぽ」をこれまで3回実施し、令和5年度には、道路・公共空間・空き店舗等を活用したまちの魅力づくりや回遊性向上を目的に行いました。

また、令和5年度より、公民連携による守口市駅北側エリアプラットフォーム会議を開催しています。



エリアプラットフォーム会議の様子



社会実験『守口さんぽ』



社会実験『守口さんぽ』の様子①



社会実験『守口さんぽ』の様子②

■エリアゾーニング及び各取組事業の方針を踏まえた将来イメージパース



※エリアの将来イメージを共有しやすいように、取組の方針を踏まえた誘導機能の配置等をアイデアベースで可視化したものです。開発計画等の事業実施内容を明示するものではありません。